

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）2月5日号 No. 1285

目次

●ロシア下院の新勢力図と陣容	1
●統計速報	5
2003年の日ロ貿易が前年比で大幅増／5	
●キーパーソン	5
サイデノフ氏がカザフスタンの中銀総裁に就任／5	
トルクメニスタンに新しい石油ガス相／5	
●エトセラ	6
ロシア極東部で自動車輸入通関ポストを拡大／6	
S&Pがロシアを格上げするも依然慎重な評価／6	
ロシア・ウラル連邦管区の経済概況／7	
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定	7
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	7

ロシア下院の新勢力図と陣容

はじめに

既報のとおり、ロシアでは昨年12月7日に連邦議会の国家院（下院）の選挙が行われ、新しい下院はすでに招集され活動を開始している。この1月16日には、委員会の人事も決まった。そこで今回の速報では、発足した新しいロシア下院の勢力図を改めて確認するとともに、下院の幹部人事を整理してお伝えする。

会派別の勢力図を見ると、結局プーチン与党「統一ロシア」が実に68%もの議席を占めており、憲法改正に必要な300議席を優に上回っている（第1図）。「祖国」や自由民主党も政権寄りの勢力であることを考えれば、新しい下院はかなり翼賛的な性格の強い議会になると予想される。統一ロシア会派は、グルィズロフ議長、2名の第一副議長をはじめ、8名もの幹部を幹部会に送り込むこととなった（第2表）。しかも、29ある委員会の委員長もすべて統一ロシアが独占するという、異例の事態となっている（第3表）。

プーチン政権と下院との良好な協力関係、スムーズな立法活動が期待できる半面、議会政治・政党政治の発展という観点からは若干後退した感も否めない。